あなたの「ココに住みたい！」をかなえませんか

ずっと！ あまがさきで魅力あふれる暮ら　しを

本市では、「子育て世帯の定住・転入に向けた良好な住環境形成のための住宅施策パッケージ（子育て世帯向け住宅施策パッケージ）」に基づき、「働く」も「子育て」もしやすいまちを目指した取り組みを推進しています

便利なエリアで快適な住まいを！

★新築戸建住宅取得補助　ID1038361

問住宅政策課〒660－8501【住所不要】
☎6489－6608 FAX6489－6597

子育て世帯や若年夫婦世帯が、本市の子育て住宅促進区域内で良質な住宅（新築・分譲）の取得に要する費用の一部を助成します。新築注文住宅は工事前に窓口での手続きが必要です。

◆補助額　200 万円（抽選 50 世帯）

◆補助対象住宅の要件（すべて満たす必要があります）

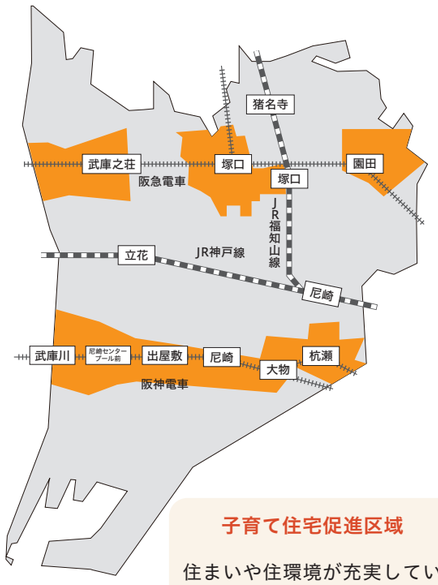
- ☑子育て住宅促進区域内に立地
- ☑敷地・延床面積がいずれも 100㎡以上
- ☑２階建て以下
- ☑長期優良住宅
- ☑子育てにおける安全性について所定の基準をすべて満たしている

◆対象者（下記以外も要件あり）

- ☑中学生以下の子どもがいるか夫婦の合計年齢が 79 歳以下の世帯

◆申し込み方法

12 月 26 日までに所定の用紙などを郵送か直接市役所北館５階住宅政策課。



子育て住宅促進区域

住まいや住環境が充実しているか充実させようとする地域として県が指定した区域

中古戸建住宅取得補助　ID1038361

▷子育て住宅促進区域内▷敷地・延床面積がいずれも100㎡以上▷インスペクションを実施済み――などのすべての要件を満たす住宅が対象です。補助額は60万円。対▷中学生以下の子どもがいるか夫婦の合計年齢が79歳以下――などのすべての要件を満たす世帯 抽20世帯。

民間賃貸住宅住替え補助　ID1037151

住戸専用面積が55㎡以上などのすべての要件を満たす市内の民間賃貸住宅が対象です。補助額は25万円。対▷県外からの住み替え▷住み替えから１年以内▷中学生以下の子どもがいるか夫婦の合計年齢が69歳以下――などのすべての要件を満たす世帯 先160世帯。

住宅施策パッケージって？

働きながら子育てしやすい便利なまち、あまがさき。この魅力をもっと・ずっと感じてもらうために「住宅施策パッケージ」を推進しています。

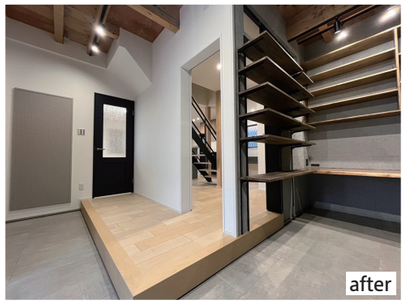
例えば、県が指定する子育て住宅促進区域で、子どもの習い事や預かり環境を充実させたり、公園や図書館を整備したり、ゆとりある広さの住宅を増やしたり……。

このように子育て世帯が快適に暮らし続けることができる住環境を整える取り組みが、住宅施策パッケージです。

PR動画で分かりやすく紹介！

市公式YouTubeチャンネルで、「市営住宅の効果的な活用」「住宅取得を支援」「公有地の活用」の３つの取り組みについて紹介しています。

広さも価格もちょうどイイ住まいに！



★子育てファミリー世帯及び新婚世帯向け空家改修費補助　ID1011583

問住まいと空き家の相談窓口☎6489－6511 FAX6489－6544

市内で延床面積 80㎡以上の一戸建ての空き家を取得して改修する場合、改修費用の一部を補助します。工事前に申請が必要です。

◆上限額　50 万円（補助経費の２分の１。加算要件あり）

◆対象者　子育てファミリー世帯（17 歳以下の子どもがいる世帯や妊婦がいる世帯）か新婚世帯（配偶者を得た日の翌日から５年以内で、夫婦の合計年齢が 79 歳以下の世帯）。ほかにも要件あり。

◆申し込み方法

12 月 26 日までに所定の用紙などを直接市役所北館５階住まいと空き家の相談窓口。

併用できる補助制度です！

既存住宅流通促進事業
ID1021258

既存住宅現況検査（インスペクション）にかかる費用や既存住宅売買瑕疵保険（個人間タイプ）にかかる費用を補助します。対既存住宅の所有者か購入予定者。

隣地統合促進事業補助金
ID1011588

活用が難しい狭小地や無接道地とその隣地を統合した場合、補助金を交付します。いずれも事前の届出などが必要です。

こんなお得な制度もあります

空家改修費補助
ID1024804

上限額は 100 万円。対築 20 年以上で２年以上空き家であるなどの要件を満たす住宅を取得し、自己居住用に改修する人。ほかにも要件あり。

子育てに奮闘している世帯を応援する住まいへ！

★市営住宅を大規模リノベーション　ID1039508

問住宅管理担当☎6489－6632 FAX6489－6597

子育て世帯が生活しやすいように、市営住宅の大規模リノベーションを実施します。入居者は夏頃募集開始予定で、市内外から申し込みが可能です。

◆対象者　中学を卒業するまでの子どもがいる子育て世帯か、夫婦の合計年齢が 69 歳以下で世帯収入が 500 万円以上の世帯。いずれも自治会活動へ参加できること。

一部の市営住宅でDIYが可能に　ID1040950

工務店などによる施工も可能で、好みに合わせて希望通りに仕上げることができます。ただし躯体に影響が出る改修はできません。入居者は６月頃募集開始予定で、市内外から申し込みが可能です。

子育て世帯向け優先制度
ID1003561

◆子育て世帯限定の募集枠を設置　専用枠で入居しやすくなります。

◆抽選時の優先制度を拡充　従来の対象に、中学を卒業するまでの子どもがいる子育て世帯を追加して実施中。

復元住居の中に入り、弥生時代の生活を体感できます

碧玉製管玉のネックレス

「田能国王」の御朱印

もっと！あまらぶ

もっとあまがさきが好きになる、
さまざまなあまがさきの魅力を
お届けします

File49 田能資料館

今月は、昭和45（1970）年の開館から今年で55周年を迎える近畿で最も歴史ある資料館の一つ、田能資料館を紹介します。

偶然の遺跡発見 市民の熱意で保存へ

国指定史跡である田能遺跡は昭和40（1965）年、園田配水場を建設する時、地中から偶然発見されました。考古学会で協力を呼びかけると全国から調査員が駆けつけ、弥生時代の墓や遺物が次々に見つかりました。たくさんの市民も見学に訪れ、調査員に食べ物を差し入れるなど、次第に交流を深めていきました。

こうした交流の中で、調査後に同遺跡が壊される予定であることを知った市民の皆さんは、「遺跡を残そう！」と署名など前例のない遺跡の保存運動を始めます。当時配られたチラシでは、遺跡の保存だけでなく、博物館と史跡公園の建設も呼び掛けられました。熱意ある市民運動が実り、同遺跡の保存が決定。昭和44（1969）年に国の史跡に指定され、翌年、同館が開館しました。

商店街で熱心にチラシを配る市民

学習や憩いの場にかつては王がいた!?

同館は、住居2棟と高床倉庫を実物大で復元した史跡公園と、同遺跡で見つかった遺物などの展示施設を備えています。展示や復元住居は校外学習などに利用され、広々とした公園は憩いの場としても地域の皆さんに親しまれています。

また、全国の弥生時代の遺跡を巡る「弥生の御朱印巡り」のスポットに同遺跡が選ばれ、令和4（2022）年から「田能国王」の御朱印を配布しています。これは、同時代の貴重な玉石・碧玉製管玉（ぎょくせいくだたま）で作られたネックレスや白銅製の釧（くしろ）（ブレスレット）などを身に着けた地域の王と考えられる人物が、同遺跡に埋葬されていたからなんです。来館の記念に御朱印も受け取ってくださいね。

弥生時代の暮らしを体験しに行こう！

6月から同館で、弥生時代について学べる企画展を開催します。期間中は同時代のデザインを再現した衣服を着ることもできます。また、本物の弥生土器に触れることができる体験も予定しています。

見て、触れて、同時代の暮らしに思いをはせてみませんか。皆さんの来館をお待ちしています！

◆前期企画展「弥生時代をのぞいてみよう 弥生土器」 ID 1034837
6月10日～9月7日午前10時～午後5時（最終入館は4時30分）。問同館☎・FAX 6492・1777 休月曜日（ただし5月5日㈪は開館し、7日㈬は休館）。

あまらぶクイズ

当初、田能遺跡は発掘調査後にどうなる予定だったでしょう？

①遊園地になる予定だった
②畑になる予定だった
③壊される予定だった

クイズの答えは本ページ右下参照

編集・発行　尼崎市広報課
〒660－8501 尼崎市東七松町1丁目23－1
https://www.city.amagasaki.hyogo.jp

市役所へのお問い合わせはこちらへ
コールセンター ☎ 06-6375-5639
FAX 06-6375-5625
平日：午前8時30分～午後7時
土・日曜日、祝日：午前9時～午後5時
業務時間外 ☎ 6489－6900

点字あまがさき・声の広報について

視力障害1・2級の身体障害者手帳を持つ人には、希望によりいずれかをお届けします。詳細は広報課☎6489－6021へお問い合わせください

AMANISM
アマニスム

面積　50.70㎢　世帯数　22万9320世帯（+875）　人口　45万3646人（+22）　（令和7〈2025〉年4月1日現在。かっこ内は前月比）

VEGETABLE OIL INK　UD FONT

不要になった市報などの紙類は「燃やすごみ」ではなく紙資源回収へ。資源のリサイクルにご協力を

市報あまがさきは市内のすべての家庭・事業所のポストに直接お届けしています。配布は毎月1日～3日の間です。配布に関する問い合わせや配布不要の場合は平日午前9時～午後4時に、シルバー人材センター☎0120－72－3380（市報あまがさき配布専用）へ

答え：③壊される予定だった